

鳥栖市投げ込み資料

平成28年6月2日

報道機関各位

鳥栖市総合政策課長 松雪 努

公共施設等白書の策定について

公共施設等を取り巻く現状や課題を把握するために「公共施設等白書」を策定し、下記のとおり公表を行いますのでお知らせします。

記

- 1 公開方法 鳥栖市公式ホームページ
(URL <http://www.city.tosu.lg.jp/5428.htm>)
- 2 公表日 平成28年6月2日(木)

(担当) 総合政策課政策推進係 担当者氏名 田中、森田
Tel 85-3511

鳥栖市公共施設等白書

【概要版】

平成28年5月

公共施設等白書とは

本市では、高度経済成長期の人口増加や社会的需要に対応するため、昭和40年代から道路などの社会基盤や学校などの公共建築物といった公共施設等を整備してきました。今後、老朽化していく公共施設等の大規模改修や建替えが必要となり、市の財政を圧迫していくことが考えられます。

このため、人口減少、少子高齢化など社会状況の変化、厳しい財政状況、公共施設等の老朽化等に対応するため、公共施設等のあり方を検討する必要があります。

本白書は、これまで各部署で個別に保有・管理されてきた公共施設等に関するデータを一元化し、総合的な視点で公共施設等の管理・運営方法等を検討するために作成するものです。

対象施設

本市が所有するすべての建築物に加え、道路・橋りょう等のインフラ施設や、上下水道などの公営企業の施設も対象とします。

市民アンケート調査結果

本市が平成26年7月に実施した市民満足度等調査において、「公共施設の老朽化に対して、施設の存続も含めた、施設の集約・廃止もやむを得ない」という考え方に半数以上の方が肯定的でした。

■公共施設の老朽化対策に対する市民満足度等調査結果

設問「公共施設の老朽化に対して、施設の存続も含めた、施設の集約・廃止もやむを得ない。」と意思ですか。



現状の分析と課題整理

本白書では次の3つの角度から分析します。

- 人口動向 …人口推移と将来人口推計、人口移動、流入・流出人口
- 財政状況 …歳入・歳出決算額
- 施設状況 …施設の状況、老朽化・耐震化の状況、更新費用

現状分析（公共施設等を取り巻く状況）

鳥栖市の人口動向

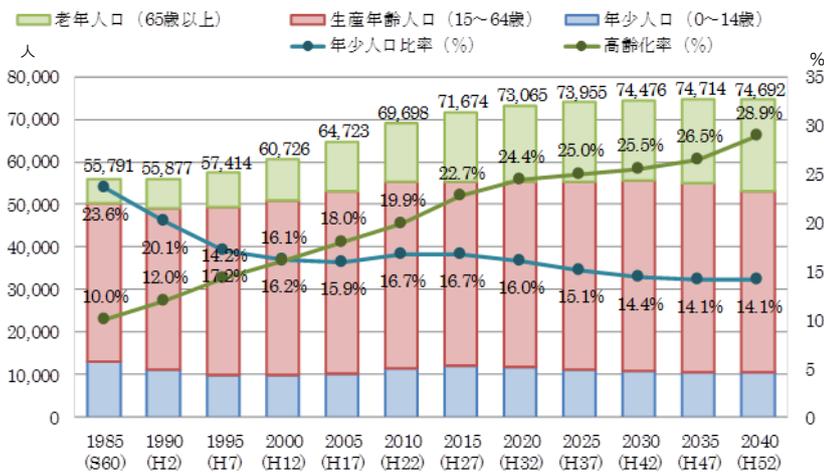


図 人口推移と将来人口推計 (1985-2040)

将来の人口

- 人口は着実に増加
- 2020年頃に4人に1人が高齢者になると推計

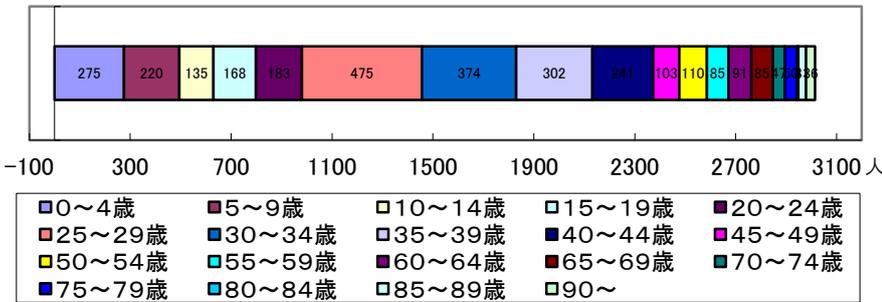


図 2010~2014年の鳥栖市の年齢階級別の人口移動

人口の移動

- ほぼ全ての年代で転入超過
- 社会増の多くが若年層
- 就業者は流入超過
- 近隣市町と密接な人の移動

表 15歳以上の就業者・通学者の流入・流出口数(平22)

	市内へ流入人口	市外へ流出人口	流入超過数
流出入口数	22,099人	14,790人	7,309人

鳥栖市の財政状況

歳入	生産年齢人口の減少等により、税収の大幅な増加が今後見込めず
歳出	義務的経費の増加により、公共施設等の建設等を行う経費の確保が困難に

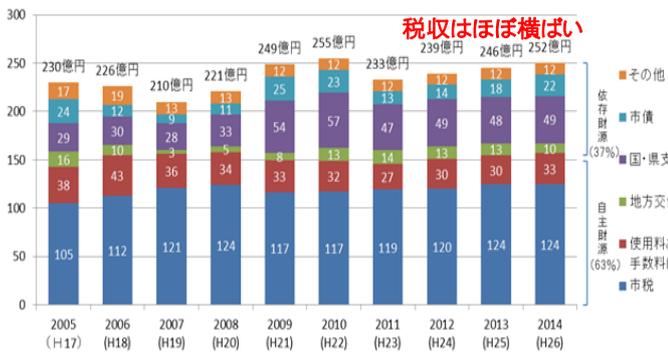


図 歳入の推移 (普通会計決算)

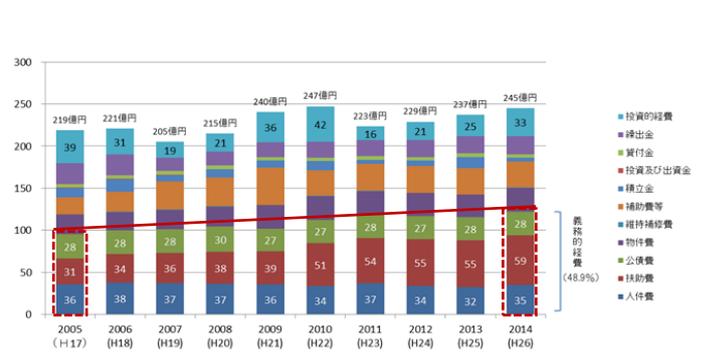


図 歳出の推移 (普通会計決算)

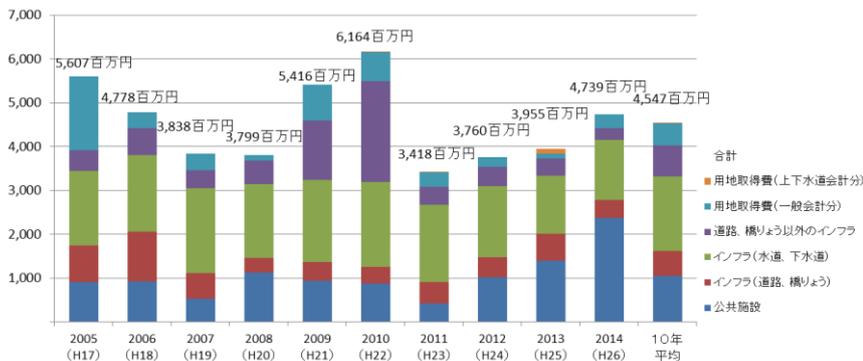


図 過去10年間の普通建設事業費の決算額

公共施設等の更新等費用

■年間約45億円
 (過去10年間普通建設事業費の平均から算出)

※普通建設事業費 ⇒ 公共施設等の新設・改修等にかかる経費

鳥栖市の施設状況

建築物の保有状況

■保有する建築物は179施設、延べ床面積230,279㎡で約50%が築30年超

■今後、段階的に老朽化していく施設の更新が必要

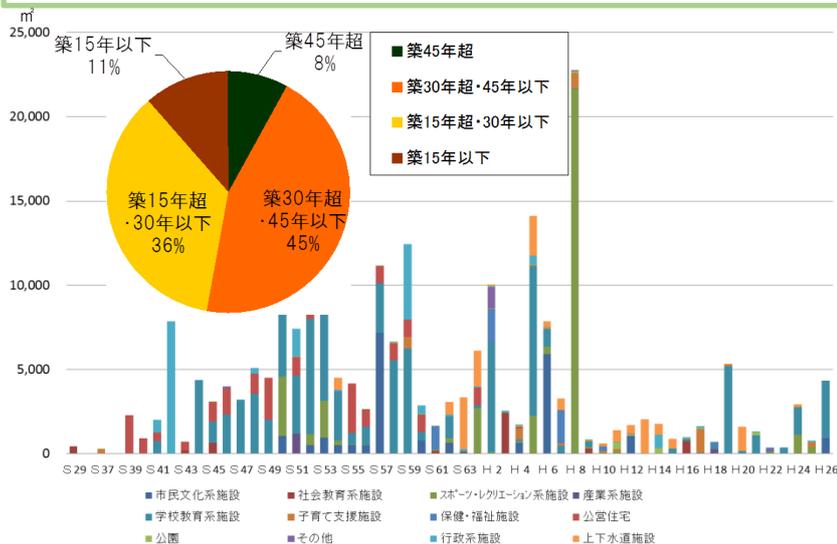
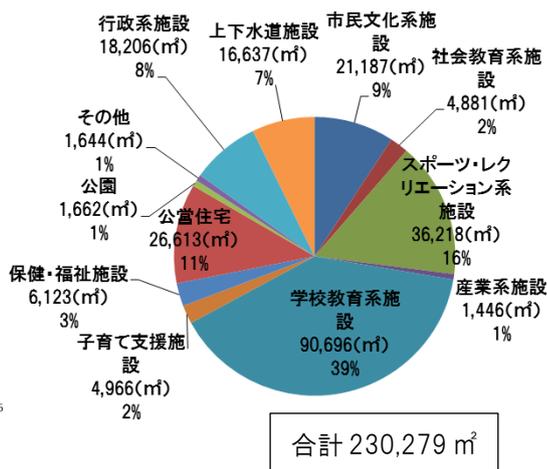


図 築年数別割合



合計 230,279 ㎡

図 施設類型別割合

表 人口1人当たりの建築物の延べ床面積

	鳥栖市	全国平均値
1人当たり延べ床面積	3.21 (㎡/人)	3.22 (㎡/人)

人口1人当たりの建築物の延べ床面積

■人口1人当たりの延べ床面積は全国平均とほぼ同水準

耐震化の状況

■公共建築物の耐震化率は94.1%

■耐震化未実施の建築物は、耐震化等の検討を進めていくことが必要

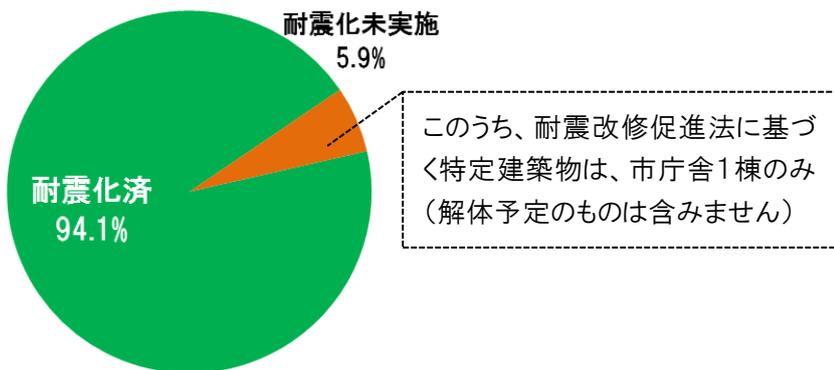


図 耐震化の状況

更新費用の試算

- 今後 40 年間に必要となる公共施設等の大規模改修・建替え費用は総額約 2,284.2 億円、年平均で 57.1 億円が必要となる試算
- 現状（過去 10 年間決算額の平均で約 45 億円）と比較すると年間約 12 億円不足
- 長寿命化等の対策をしなければ、施設の更新に要する費用が不足する可能性

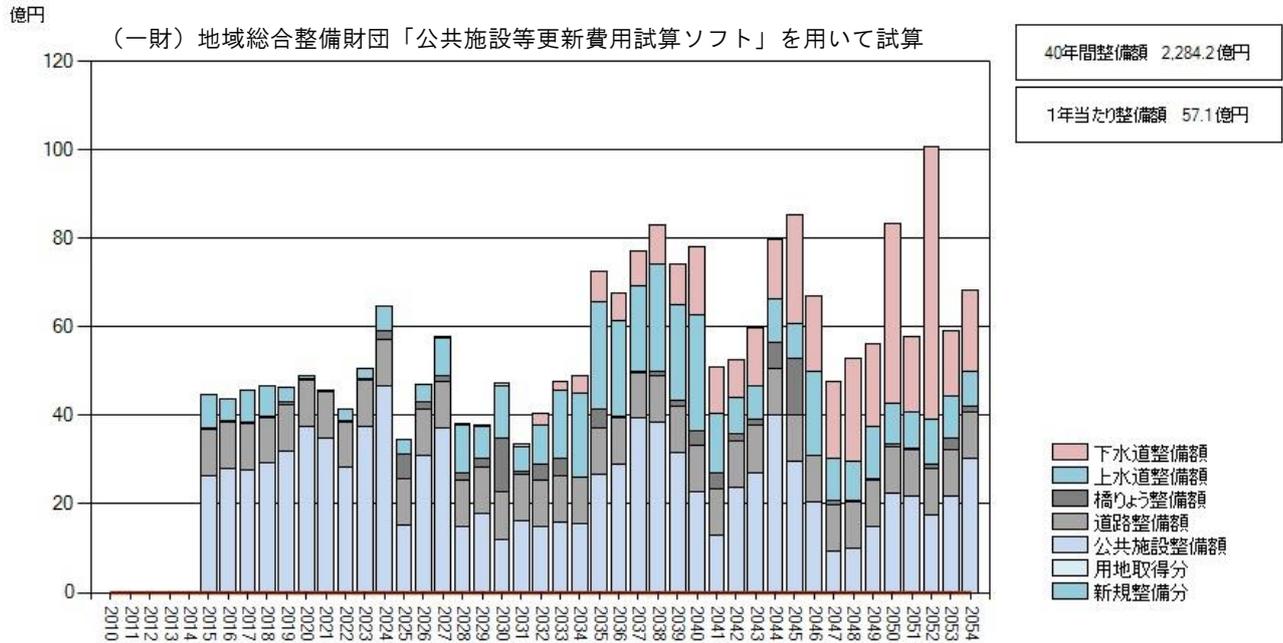


図 建築物・インフラの改修・建替えに係る費用試算

課題の整理

分析結果

■人口動向から

- ◇ 人口動態を考慮しつつ、適切な施設保有量の検討が必要です
- ◇ 社会的需要の変化への対応に努めていくことが必要です
- ◇ 近隣市町等との連携など、広域的な視点も必要です

■財政状況から

- ◇ 公共施設等の建設や改修等に必要な経費を確保することが難しくなります
- ◇ 効率的な施設運営等の検討が必要です
- ◇ 公共施設等の新設や改修等の費用を縮減、平準化していくことが必要です

■施設状況から

- ◇ 公共施設等の老朽化が進むため、段階的に更新が必要になります
- ◇ すべての公共施設等をこれまでと同様に更新していくことが難しくなります
- ◇ 耐震化がされていない公共施設等は、耐震補強等を検討していく必要があります

今後の取り組み

本白書は、鳥栖市が現在保有している公共施設等について、現状を把握するとともに、課題の整理を行うために取りまとめたものです。

今後、公共施設等を総合的、計画的に管理していくための基本的な方針を定め、具体的な取り組みに繋げていきます。

なお、白書や計画については公表し、市民・施設利用者の方々と共通認識を図ります。